

19年度予算における主な数値

予算規模

一般会計

429億円(18年度409億円、前年度より20億円、4.9%増)

市税収入

254億円(18年度232億円、前年度より22億円、9.7%増)

自主財源比率

自主財源とは市税・使用料等市が自主的に収入しうる財源のこと。

74.6%(18年度70.2%、4.4ポイント増)

義務的経費比率

義務的経費とは人件費・扶助費・公債費の計で任意に削減できない経費のこと

53.1%(18年度53.7%、0.6ポイント)

人件費	31.4%
扶助費	11.3%
公債費	10.4%

職員数

企業会計を含む全職員数の19年4月1日見込み

1,498人(18年4月1日1,506人、8人)

債務残高

一般会計と公共下水道会計の計の19年度末見込み

866億円(18年度末見込み896億円、30億円)

一般会計債務合計	514億円
公共下水道会計分	352億円

将来債務比率

普通会計の標準財政規模に対する債務残高の割合。19年度末見込み

187.5%(18年度末見込み195.3%、7.8ポイント)

(ただし減税補てん債等の特例債を除くと、127.4%)

基金現在高

全会計の計の19年度末見込み

50億円(18年度末見込み67億円、17億円)